

親睦交流会に参加して

土曜日の交流会、お世話になりました。皆さんの時間を費やして用意して下さったお食事や会場の設定など本当にありがとうございました。

保養に子どもが参加しなくなってから3年になりますが、子どもを線量が低いところへ連れて行き、身体を休めてあげることができなくなったことに加えて、自分の悩みをうちあける場所もなくなってしまいました。今日のような会で母親同士、話ができたと、また支えてくださっている皆さんに再会できたことはとても嬉しかったですし、これからの支えにもなると思います。

昨年、「東日本大震災」がテーマの授業があり、その中での先生とのやり取りに子どもが傷ついて帰ってきたことがありました。学校での放射線教育は基本「安全」なので、それに沿わない発言をしてしまい、先生からその発言について否定されてしまったとのことでした。

先生に話をしに行こうか迷いましたが、子どもに、人それぞれ放射線に対する考え方はちがうこと、考え方が違うからといって発言を真っ先に否定する先生がおかしいということ話し、そのことはその日でおさめました。

でも、そのことが私の中で消化できないままでした。私が良かれと思ってやっていることが子どもの発言につながっていると思ったからです。どうすれば良かったのだろう…これからはどうすればいいのだろう…と悩んでいました。

今日参加したお母さんにそのことを打ち明けました。真剣に話を聞いてくれました。さらに、うちはこうしてるよという話もしてくれました。

なかなか放射線の問題については気軽に話をすることができない福島で、素直に自分の悩みを打ち明けることが出来る時間を作っていただけて本当に感謝です。気持ちがとても楽になりました。

ありがとうございました。

2019.1.20 記

福島市 40代母